

「食品に関するリスクコミュニケーション（名古屋）」
 ～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～
 アンケートの集計結果

開催日：2004年9月27日（月）

参加者数：59名 回答数：40名（回答率67.8%）

問1 ご自身について、ご回答ください。

1) 消費者	13	34.2%
2) 農林水産業	0	0%
3) 食品関連事業者	7	18.4%
4) 食品関連団体	1	2.6%
5) 研究機関	0	0%
6) 行政関係	15	39.5%
7) マスコミ関係	0	0%
8) その他	2	5.3%

・ 食品安全消費者モニター（1） ・ 独立行政法人（1）

問2 本日の意見交換会は、何からお知りになりましたか。

1) 食品安全委員会のホームページ	10	25.6%
2) 食品安全委員会からのご案内資料	10	25.6%
3) 関係団体からのご案内資料	12	30.8%
4) 知人からの紹介	5	12.8%
5) その他	2	5.1%

・ 農業新聞（1）
 ・ すでに申し込みをして参加証着後に、9 / 23 食品安全委員会から案内が届きました（1）

問3 今回の意見交換会全般について、どのようにお考えですか。

1) 評価する	5	12.5%
2) やや評価する	13	32.5%
3) あまり評価しない	11	27.5%
4) 評価しない	4	10.0%
5) 無回答	7	17.5%

評価理由

- ・ 議論の時間が足りない気がしました。テーマをしぼる（そのデメリットもありますが）会も必要かと。
- ・ あらかじめこうした会の案内が多くの人に伝わっていない。土・日など、働いている人にもこうした機会が与えられるべき。
- ・ 山内先生のお話が聞けた。直接関係した方の話は大切。
- ・ 出席者の中に特定の団体が意見を言う場が多かった。もっと幅広い消費者層の参加求めるべきである。
- ・ 初めから結果ありきの気がする。専門部会と安全委員会と行政のズレを感じます。

- ・意見交換会に限らないが、交換会を実施した内容がいかに食品安全委員会の活動内容に反映されたのかの説明が、今後重要になるのでは。そうでないと、意見交換会を実施した意味が国民に理解されず、存在意義が問われることになる。
- ・参加者が参加しやすい形にしないと、開催しただけにならないか。参加者の納得が得られたか疑問。納得を得る方法を工夫して欲しい。
- ・募集自体が早く広く知らされず、実施したという事実を残したにすぎなくなりますよ。早目をお願いします。
- ・今回で4回目。言葉の理解が深まると同時に、より不安も大きくなりました（単に周知徹底させる為の場をもうけているのではと）
- ・検査もSRM除去も、それぞれの役割があり、どちらかに変えられるものではない。山内先生のご意見。
- ・自己の考えが他者にはどう感ずるか。まわりの情勢を客観的に見直す機会として有意義だと思う。
- ・総論に終始した回答しか出なかった。
- ・もっと各出席者の質問に的確に答えて下さい。先生方へ。
- ・意見陳述会ではあるが、今後の国の施策に消費者の意見が反映されるようなヒアリングの場にすべき。多くのこのような場で感じるのだが、壇上の方の多くが、自分が消費者であることを忘れていたような印象を受ける。
- ・多くの聴講者がさまざまな意見を持っているなということがわかった。
- ・相互に意見がかみあわない。いいっぱなしという感じ。
- ・SRM除去の精度は誰が責任とるのか？全頭検査よりも重要なSRM除去をと考えるのか。
- ・質問の答えになっていないと思われる回答が多かった。
- ・行政と消費者の直接的な対話はやはり必要だと感じました。
- ・疑問が増えた。時間が不足。結論をもった説明のように思えます。
- ・食品輸入国日本で食品安全は必要です。私達消費者にとって安全について関心を持っています。
- ・そうでは無いと言われますが、まとめの言葉に唐突に「全頭検査よりSRM除去の方が数十倍有効」と出てくるのを聞くと、初めに基準緩和の結論ありきと誤ってしまいます。会場内の意見は100%緩和への危見ではなかったですか？まだまだ未知の病気である事を率直に受け入れ、検査精度を上げる事を素直に進めて行って欲しい。
- ・質問者が特定された考えの持ち主。
- ・参加人数が少なすぎます。宣伝が足りないから？
- ・会場からの意見・質問と、主催者側の回答説明がどうもかみあっていないように思われる。
- ・特定の参加者が各地の意見交換会に連続出席し、発言するというのは機会均等、及び発言内容にかたよりが生じている。
- ・Qに対して明確なAをしていない。
- ・食品安全委員会の方向が直に山内先生に話を聞き理解できた。
- ・何をしたいかは分かった。
- ・話の内容をもっとわかりやすくする必要があるので。

問4 意見交換会に出席されてどのような感想を持たれましたか。あてはまるものはすべてご回答ください。

- | | | |
|-----------------------------|---|-------|
| 1) 情報を公開していこうとする行政の姿勢が見られた。 | 9 | 22.5% |
| 2) BSE 対策について理解が深まった。 | 9 | 22.5% |

- | | | | |
|-----|--------------------------------------|----|-------|
| 3) | 会場参加者と行政関係者との意見交換が出来ていて良かった。 | 7 | 17.5% |
| 4) | 意見交換というより一方通行の意見表明をする場になっていた。 | 8 | 20.0% |
| 5) | 行政関係者の話をもっと聞きたかった。 | 13 | 32.5% |
| 6) | もっとわかりやすく簡単に解説してほしい。(まだまだ難しくりかいにくい) | 8 | 20.0% |
| 7) | 講演時間を十分とって背景なども含めて説明してほしい。 | 6 | 15.0% |
| 8) | 講演時間をもっと短くして会場参加者との意見交換の時間を多くとってほしい。 | 4 | 10.0% |
| 9) | 偏った意見が目立っていたように思う。 | 7 | 17.5% |
| 10) | 講演資料が分かりやすかった。 | 3 | 7.5% |
| 11) | 意見交換だけではなく、もっと内容について議論する事が必要だ。 | 13 | 32.5% |
| 12) | その他 | 6 | 15.0% |
- ・ もっと回数を増やすべき。
 - ・ 消費者等、参加者の意見・質問をあらかじめ集約し、それを1つの意見交換会の資料にすると効率が良くなるのでは？
 - ・ 参加者が少ないので、質問に対していねいに答えてほしい。司会のまとめ方、進め方は大変まずい。
 - ・ 聴講者が非常に少なく感じた。折角の機会なので、もっとPRして出席者を増やしてもらった方が良かった。
 - ・ 行政関係者はもっとマイクの使い方、話し方を勉強して下さい。何言っているのかわかりにくかった。一度録音して聞いてみて下さい。小泉委員は明日は、次の日はでコミュニケーションがありますと言われましたが、もっとせめて県庁所在地毎位に聞いてください。これで決まってしまうなら、先に結論ありきになりますよ。
 - ・ 行政はできないことはできないとはっきり言うべきだ。

問5 今回、食品安全委員会プリオン専門調査会では昨年の発足以来、日本のBSE対策について初めて科学的に検証し、その結果を「日本における牛海綿状脳症(BSE)対策について - 中間とりまとめ - 」としてとりまとめ、今後さらに検討を行なっていくこととなりますが、この中間とりまとめを行なったことについてどのようにお考えですか？

- | | | | |
|----|----------|----|-------|
| 1) | 評価する | 10 | 26.3% |
| 2) | やや評価する | 18 | 47.4% |
| 3) | あまり評価しない | 8 | 21.1% |
| 4) | 評価しない | 2 | 5.3% |

理由

- ・ 賛否両論ある中、議論を行うための資料提出は重要と思う。
- ・ リスク管理に活かせるようにしてほしい。事業者への徹底が重要であり、周知してほしい。
- ・ 現状分析は大切なことであるから。
- ・ リスクコミュニケーションの場を作り、意見の場を持った事が以前に比し良くなったと思う。

- ・ 但し、食品安全委員会事務局の方の発言は問題。アメリカ牛輸入解禁問題は、厚生省・農水省の判断との考え方は改めるべき。食品安全委員会とは、設立の理念と目的を「国民にとっての食の安全確保」に軸足を置くこと。決して専門家の研究内容をまとめる場ではないはず。
- ・ 人に対するリスクをベースに考えるのは合理的だと思うし、科学的根拠に基づき、食の安全について政策を決めていくことが大切だと思うから。
- ・ 簡単に答えが出る問題ではないと思うので、ある程度の時期に途中経過であっても、何かまとめを出してもらった方がよかったと思うので。
- ・ 情報として少しは受け取ることが出来たから。
- ・ 食品安全委員会には大きな期待を寄せています。消費者の安全にしっかりジク足を置いて下さい。
- ・ 個人的には、現在の検査技術では、月齢の低い牛については検査をしても異状プリオンは発見できないなら、アメリカの言うようにSRMを完全に適切に除去すれば問題無いと考えていたが、そんなことでは納得出来ないと言う意見が多かったのには驚くと共に、自分の考えが甘いのかわからなくなった。アメリカから輸入する牛肉について、日本で検査すれば安心なのでは無いか。只、コストがかかる為、価格に影響が出るかもしれないが！
- ・ 情報公開の上から当然である。
- ・ 食品安全委員会が公平に科学的にしたいという姿勢であることを評価します。
- ・ 科学的見解は明確になった。しかし、結論部分（検査基準見直し）が不明確。
- ・ 牛肉だけ安全性を問題にしている（消費者）。もっと他の食品についても考える消費者を育成していく必要がある。
- ・ 内容はとにかくとして、とりくんだ姿勢は評価。
- ・ 科学的知見のもと、善し悪し内容はともかく、一定の方向が出されたと思う。
- ・ これからもBSEについては発生すると思います。これによって、公的機関がもっと消費者への安全をうたってほしい。
- ・ すでにわかりきっている事をまとめただけという印象。
- ・ かんじんな問題点に仮定や推論が多く、それを基に対策を導き出しているのは、非常に不安。科学的でない。
- ・ アメリカ牛の輸入でリスクは高まるのが目に見えているのに、そのことをムシしたリスク評価はイミがない。

問6 本日のような意見交換会にこれまでどれくらい参加したことがありますか。

1) 今回が初めて	25	65.8%
2) これまでに1回	3	7.9%
3) これまでに2回以上	10	6.3%

附問6 - 1 問6で3)を選択した方にお伺いします。意見交換会のあり方や勤め方は改善されてきていると思いますか。

1) 以前よりは改善されてきた	5	45.5%
2) 改善すべき点がある	6	54.5%

- 改善すべき点があるとしたらどのような点が具体的にお書き下さい。
- ・ 議論された内容と、最後のまとめの方の言葉が反映されていない。

- ・ 参加者の意見が出て、双方向という形になってきた。
- ・ 一般に知らせるべき。
- ・ 会場からの質問、意見に対する適切な回答が聞けない場合もあった。アメリカ輸入と関係ないとしているが...依然消費者は不安は残る。
- ・ 質問になって、時間制限されているのはよい。
- ・ 参加人数の激減からみても、国民の今の感情がわかろうというものです。おおかたの国民は知りません。
- ・ 結論ありきのコミュニケーションのように思える。不信あり。
- ・ リスクコミュニケーションと表現しながら、説明会のスタンスになっている。広く意見を聞くという機会に運営転換すべき。
- ・ 司会者がしゃべりすぎる。質問内容を限定しすぎる。

問7 以下の食品安全委員会の取組みのうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んでください。

1) 委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと（原則公開されていること）	16	40.0%
2) 食品安全委員会ホームページ（委員会や意見交換会等の配布資料及び議事録、意見募集、リスク評価等）	25	62.5%
3) 食の安全ダイヤル	9	22.5%
4) 食品安全モニター	15	37.5%
5) 食品の安全性に関する用語集	10	25.0%
6) 食品の安全性に関する政府広報	12	30.0%
7) その他	0	0%

附問7 - 1 上記で選択したものについて、御意見やご感想がございましたらご記入ください。

- ・ もっと地方自治体を利用していただければと個人的には思います。
- ・ これからも意見交換会を開催して下さい。
- ・ かんじんな情報・議論は公開されていない。
- ・ パソコンから情報を得、本日参加することができたが、山盛りの情報の中から拾い出すのは大変。もっと多くの方面からの発信が必要では？会場に集まることが出来た人は、本当にアンテナをはっていた人だけだと思う。
- ・ 今日の意見を尊重してほしい。v C D Jのリスク問題でなく、酪農家からB S Eを除く努力も必要です。
- ・ ホームページを見る事のできない人はまだまだ多いと思います。新聞等、情報を一般に知ることのできる方法を利用して頂きたい。全般的に、マイク o r 話し方が問題か、壇上の方々の、口の中でモゴモゴと、話が聞きとりにくかったです。
- ・ 今回のリスコミ開催をどうやって消費者に伝えましたか？
- ・ 回答者の方のことば、不明多々有り。最後の挨拶には90分の意見交換は何だったのかと失望！！
- ・ もっと広報、新聞等に知らせるべき。なぜ、急いでいるのか？11月以降にずらすべきです。
- ・ 食品の安全性に関する用語集は参考になるので入手できて良かった。説明して頂く時、資料No.の何ページをと全員の方が言ってもらった方がわかりやすかった。
- ・ 用語集は冊子で配布して下さい。パンフも有料と聞きましたが、有料では普及しないのではと思う。

- ・一般消費者にも分かり易い用語に、より一層留意していただきたい。
- ・くれぐれも全国のコミュニケーションで国民の意見を聞いたなどとさっかくなさいませんように。今日の参加人数を考えていてください。